

平成29年度 **あきたスマートカレッジ** (報告)  
あきた教養講座

**K1～3：東大史料編纂所特別講座**

会場：秋田県生涯学習センター3階 講堂

【趣旨】昨年度、好評を博した東京大学史料編纂所の研究者による特別講座を今年度も実施できる運びとなりました。今回は、幕末・戊辰戦争までも含めた内容です。歴史学研究の最前線にいる研究者が、県所有史料に基づく研究成果を直接県民のみなさんに披露してくださいます。

| 講座記号 | 期 日           | テーマ                      | 講 師                     | 参加者数 |
|------|---------------|--------------------------|-------------------------|------|
| K1   | 10月14日<br>(土) | 佐竹家と大坂の陣<br>～佐竹義宣の一番長い日～ | 東京大学史料編纂所<br>准教授 金子 拓 氏 | 154  |
| K2   | 10月28日<br>(土) | 佐竹義宣と鷹狩                  | 東京大学史料編纂所<br>准教授 及川 亘 氏 | 132  |
| K3   | 11月11日<br>(土) | 戊辰戦争と秋田藩                 | 東京大学史料編纂所<br>教授 保谷 徹 氏  | 178  |
| 合計   |               |                          |                         | 464名 |

今年も東大史料編纂所の准教授・教授陣3名が秋田県生涯学習センターにやって来ました。申込者は、回数別に204名、172名、250名であり、期待の高さが数字に現れています。3名の先生方も、秋田県公文書館等で調査した結果を県民の方々へ伝えることに喜びを感じてください、誠にありがたいことです。

金子先生は、慶長19年(1614)11月26日、大坂冬の陣においての「今福・鴨野の戦い」が、「佐竹義宣の一番長い日」と考えられると話されました。これは、後に秋田藩で元禄9～10年(1696-97)に、家中諸士に伝来文書・系図などの提出を命じる修史事業が開始され、宝永6年(1709)、初代義宣の家譜(の原型)が成立し、その史料から言えることであるそうです。講義の中では、二木謙一氏による大坂の陣においての布陣図を提示しながら「冬の陣におけるもっとも激しい戦闘」であることを説明しました。慶長19年11月26日の記事が写本約30丁分(活字刊行本上下段10頁分)であり、1日がこれを超える分量の記事をもった日はほかにはないことがその理由だそうです。義宣家譜の史料を読みながらその謎を解き明かして行きました。

及川先生は、鷹狩という軍事訓練を好む義宣公が頻りに常陸と秋田を行き来していたことの史料から、鷹をめぐる将軍と幕閣・大名の関係について詳しく語りました。

保谷先生は、軍制や砲術の専門家らしく、戊辰戦争の経過に触れ、秋田藩の旧態依然たる軍隊の様子を熱く語りました。



金子 拓 氏



及川 亘 氏



保谷 徹 氏